

経営比較分析表（令和4年度決算）

福井県公立丹南病院組合 丹南病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	16	対象	ド透訓	救臨感へ災輸
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	15,070	-	第2種該当	7:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
175	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	4	179
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
150	-	150

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

福井県の中央部に位置する丹南圏域における公的中核病院で、救急告示病院や災害拠点病院などの指定を受け、急性期医療はもとより、地域の医療機関等と連携し、回復期や慢性期医療等についても重要な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

病床利用率は類似病院平均と同等である。経常収支比率は平均を下回るものの100%を超え、また医業収支比率・修正医業収支比率とも平均を上回っており、経営は健全な状態にあるといえる。患者1人1日当たり収益について、入院は平均超えであるが、外来は令和4年度においては下回った。職員給与費対医業収支比率は平均を下回っており、概ね適切な状態であると考えられるが、低水準の人員費は医療サービスの低下にも繋がりがかねないため、慎重な検討が必要である。材料費対医業収支比率が平均を上回っており、費用削減に努める必要性が考えられる。しかしながら、小児・周産期・救急等の不採算部門を抱える公立病院においては、安心できる地域医療の提供という点において、至極困難な事項である。今後とも持続可能な地域医療サービスの安定供給のため、健全性・効率性についても推進すべき点であるとする。

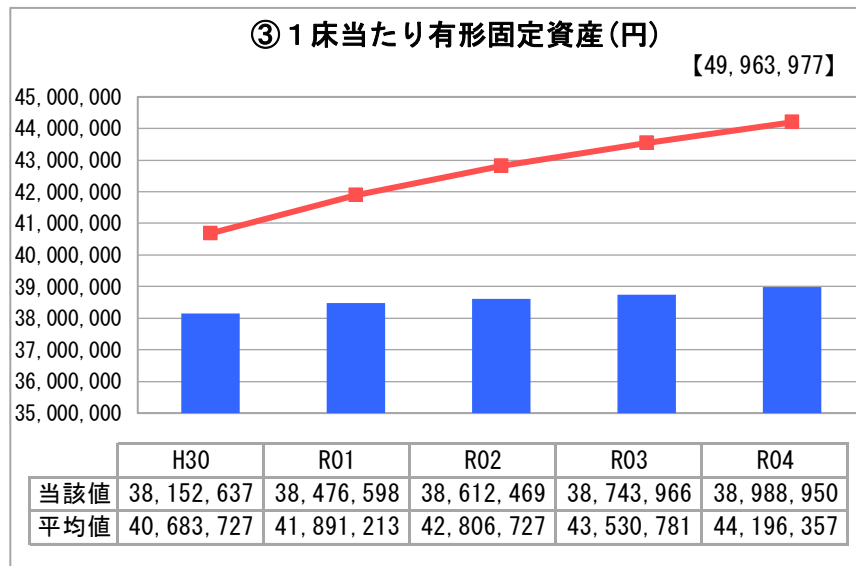
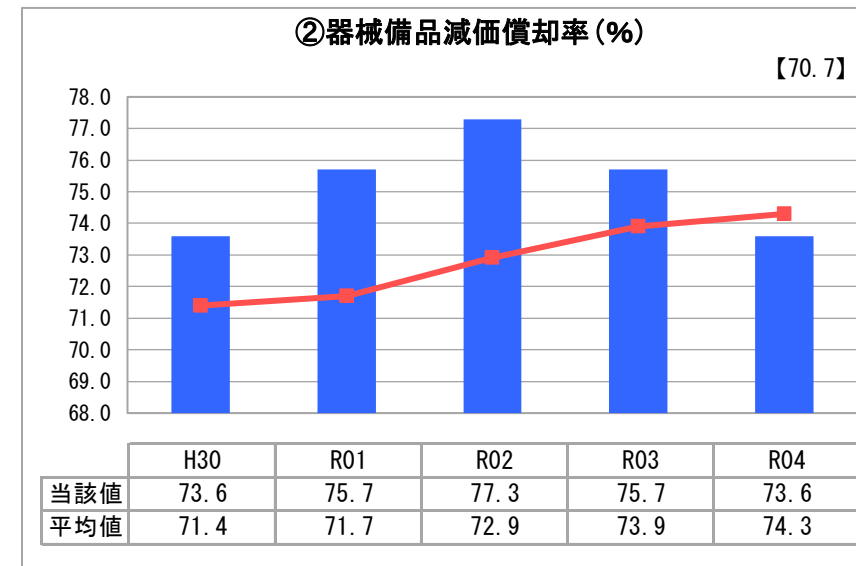
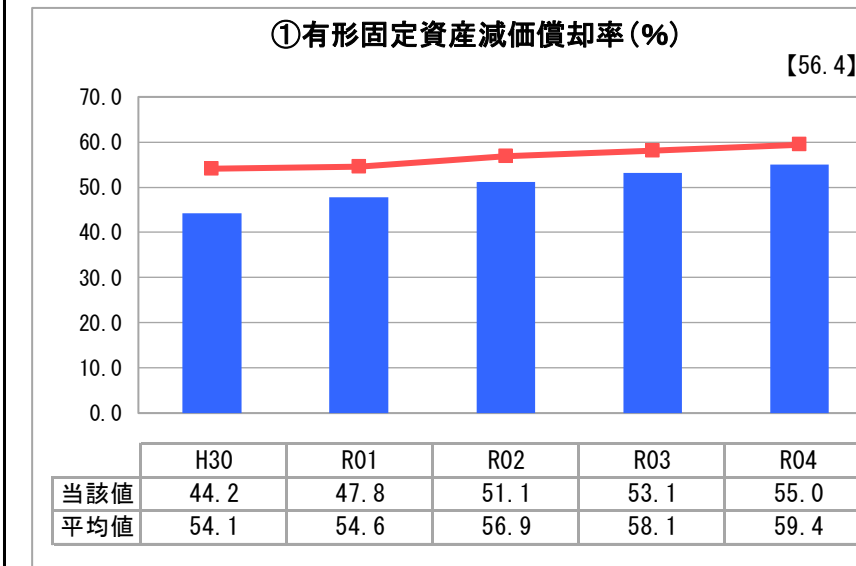
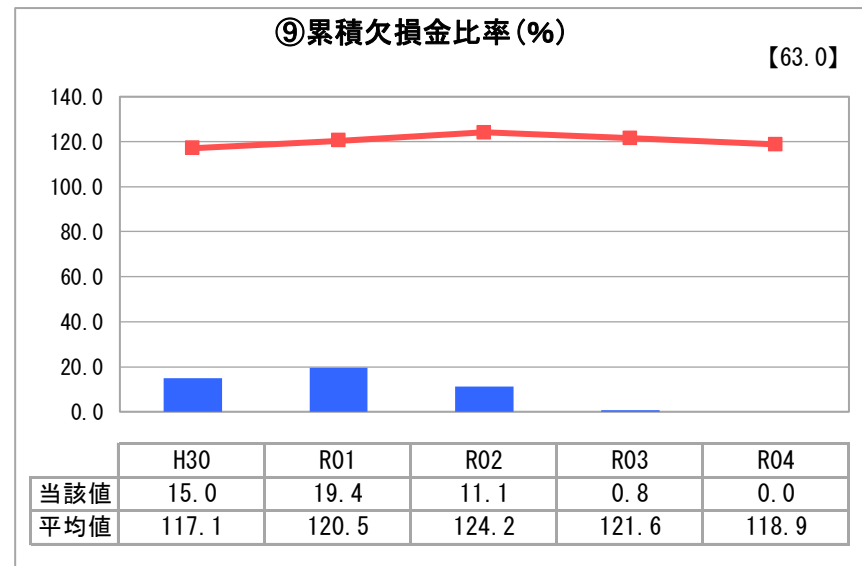
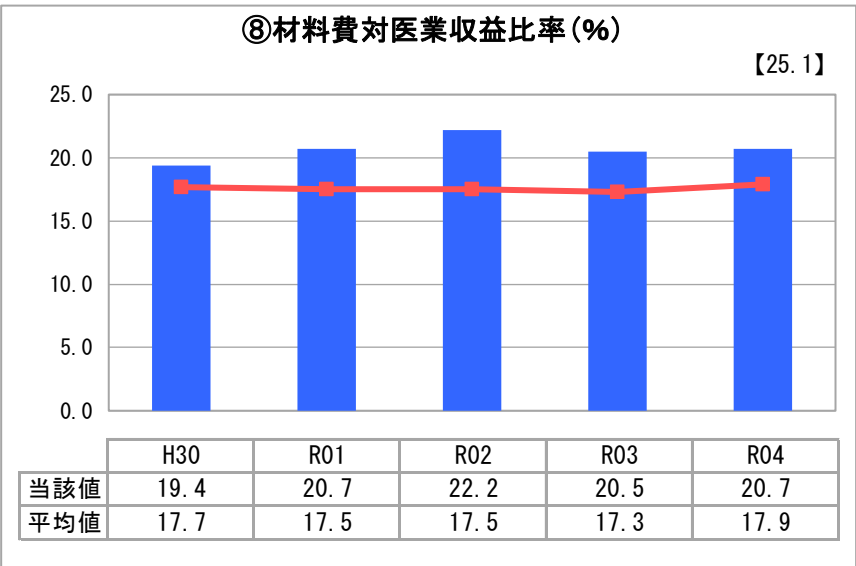
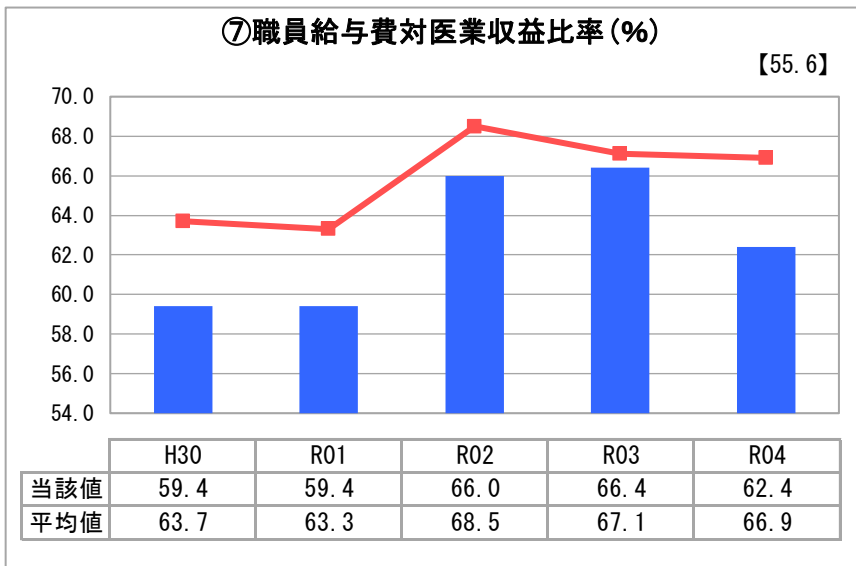
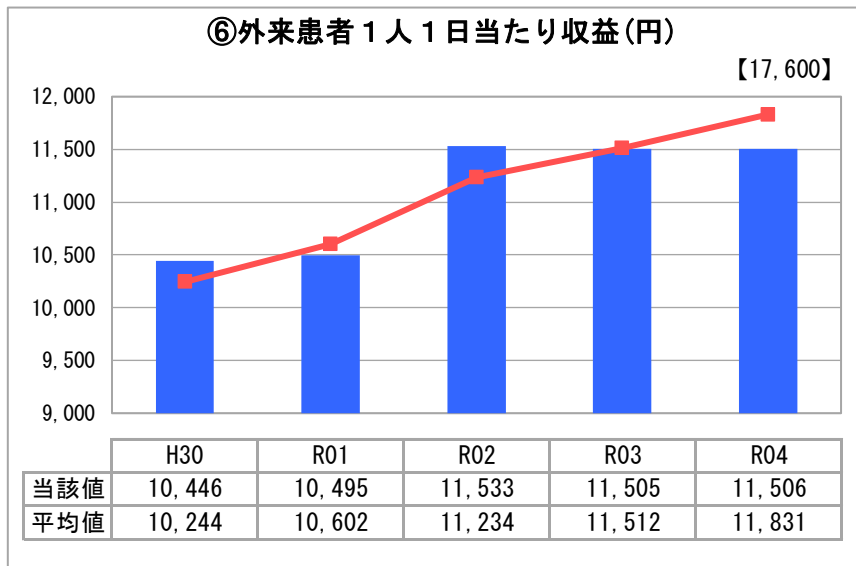
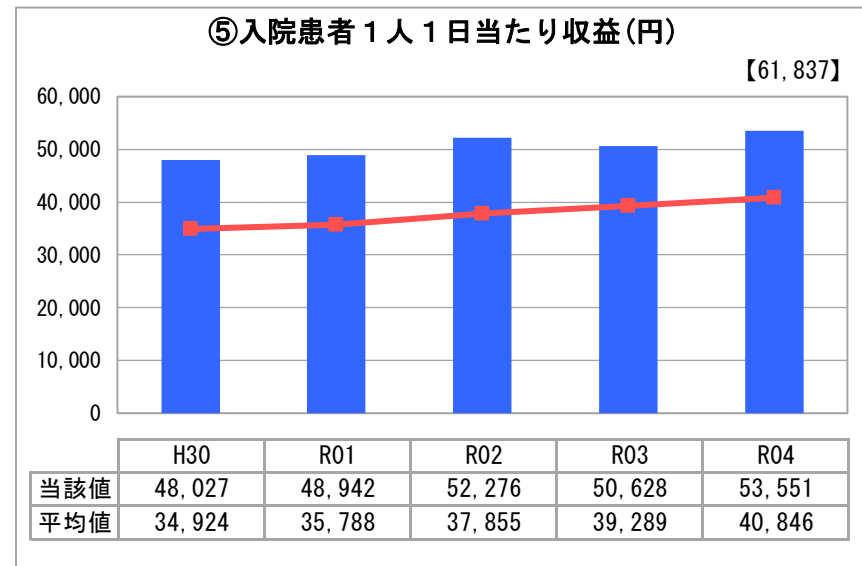
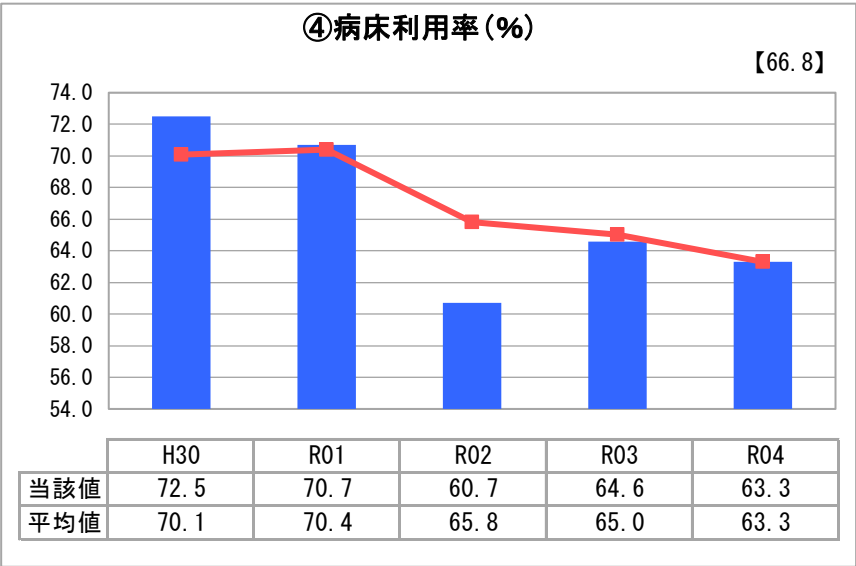
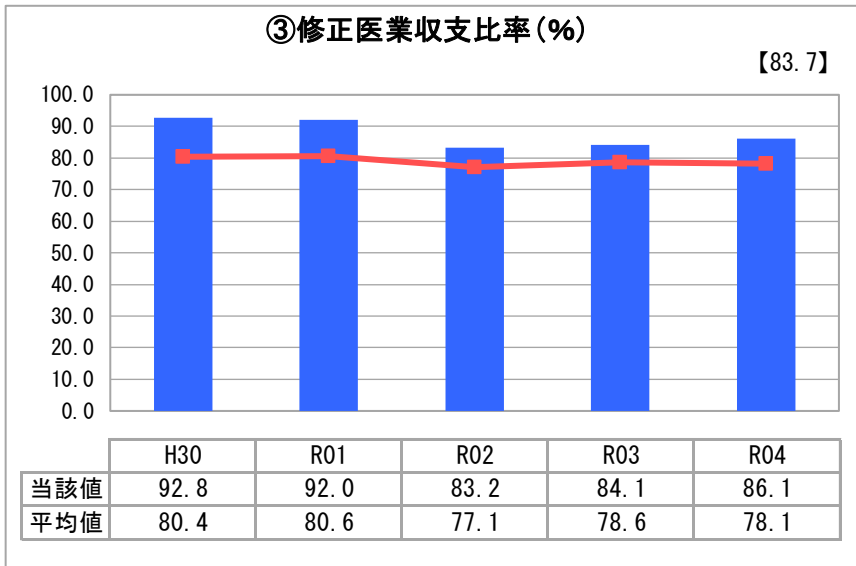
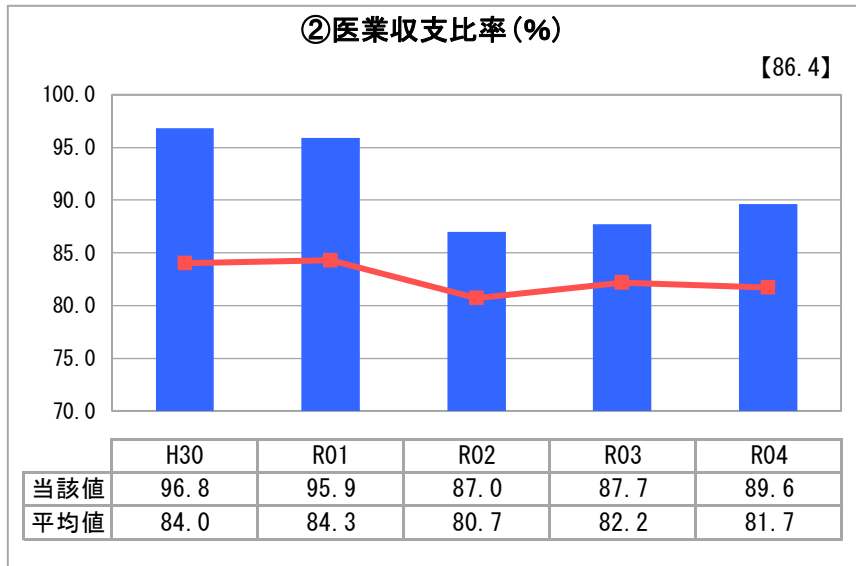
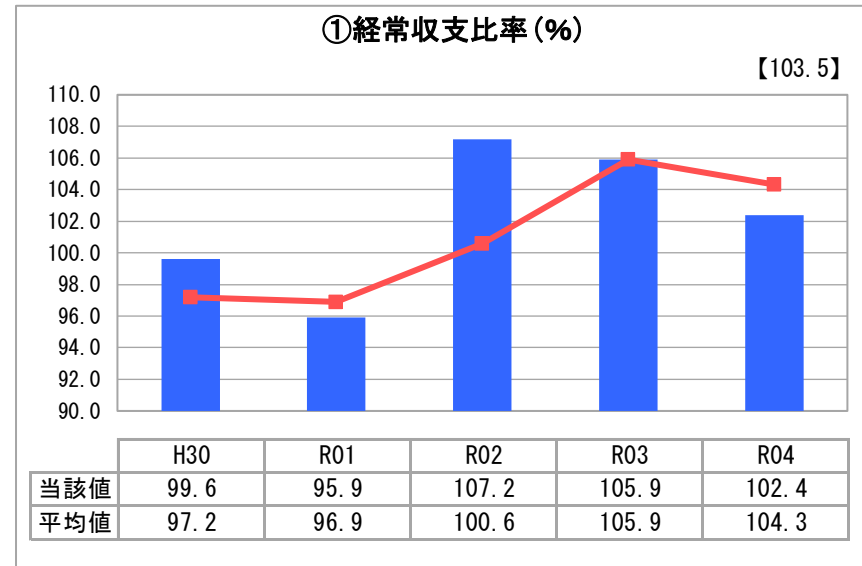
2. 老朽化の状況について

有形固定資産の減価償却率は平均を下回っており、令和4年度決算においては器械備品の減価償却率も下回った。しかしながら、器械類は法定耐用年数を超えて使用しているものが数多くあり、更新費用がなかなか捻出できない。財政状況を鑑みつつ、かつ医療需要動向に合わせた必要な設備機器の検討とともに、より計画的な更新が必要であるとする。器械類の整備については、今後も指定管理者と協議しながら適正に実施するものとする。1床当たり有形固定資産は平均を大きく下回っており、投資規模は適切なものであるとする。

全体総括

累積欠損金比率は平均より大幅に低い水準にある。経常収支比率、医業収支比率、職員給与費対医業収支比率、すべてが良好な数値であり、概ね健全な経営状況といえる。しかしながら、実際のところ令和2～4年度の収益は、新型コロナウイルス感染症関連の交付金により黒字化している状態で、交付金の削減や廃止後に純利益を出すのは非常に困難な課題である。令和5年度に経営強化プランを策定するが、今後更なる経営の健全性・効率性を高め、施設・設備の老朽化への対応も行う一方で、財政の健全性を維持しつつ、丹南圏域の中核病院として、その役割を十分に果たせるよう努めたい。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。